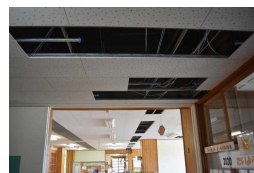




緑の風



天井の穴 なんの穴？

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

ようやく「ひまわり班」がスタート！

いつもの年よりも、1か月くらい遅れて、本校の縦割り活動がスタートしました。

5月21日（木）は、感染症の予防対策期間ということで、全校一同が集まることはしないで、班ごとに学級に集合して、運営委員が校内放送で進めてくれました。はじめに、班のみんなに自己紹介をして、新しいメンバーを確かめ合いました。少し緊張している低学年に、高学年の優しい言葉かけがたくさん見られました。肩に手をかけて励ましている姿も、とても温かかったです。そして、新しい仲間と力を合わせて活動するスタートが「わたしたちの校長先生」という福笑いのようなやり方で、私の顔のパーツを書いていくゲームです。



どんなすてきな顔になっているのかと、私も仮面をかぶって全部の学級を一回りしました。変顔のお面に、本気の「キモいっ！」というお怒りの声をたくさんいただきました。

次の日からは、このメンバーで縦割り掃除が始まっています。人間関係をつくり、将来につながる社会性や協調性、自制心などを育む心の活動を、みんなで見守っていきたいと考えています。



メンバーで集合写真



キモいお面



完成品のコンテスト 似てますね？



しょうかいします！

理科の教育専門監 富樫朋哉先生

毎週金曜日だけ横堀小学校で、3年生から6年生までの理科の勉強を教えてくださいました。とっても元気、とっても明るい朋哉先生。すでに人気急上昇中。白衣姿が自然です。「たいようの声と元気で発信」するリーダーです。みんなも負けない元気で授業を楽しみましょう！

大仙っ子 新聞読もうDAY



市の事業として、3年生以上の全員に月1度、子ども新聞が配布されます。学校では、6年生の高橋千乃さんをはじめとする図書委員が「読売、朝日、毎日、秋田さきがけ」の4つの子ども新聞をホールにある「新聞コーナー」においてれています。子ども新聞といっても、内容は大人顔負けです。最近の見出しは次のようなものです。

- 新型コロナ 感染者世界で500万人
- みんなは9月入学どう考えるかな？
- 米国WHO脱退ほのめかす
- 実質GDP年率3.4%減
- 世界史マジカル大冒険
- 暖冬 海に原因
- まるやま昆虫研究所
- H2Bロケット打ち上げ成功
- What's up English
- 子ども料理人「回鍋肉」



今日は、図書担当の小野先生が新聞の活用の仕方や読み方を教えてくれました。家族と読んだり、切り抜いて家庭学習に活用するなど、新聞（紙媒体）だからこそできる活用の仕方を楽しんでほしいです。



歩いて とくとく 集団登校 地域を元気に



これも、新しいコーナーである「登校班チェックボード」です。ホールの柱に掲示して、毎日班長がチェックします。

今日は、「○」と「▲」が並んでいます。雨模様なので車で登校した班が多いことがわかります。学校でのチェックポイントは、次の三つです。

- 1 **安全に** しっかり並んで歩いていた
- 2 **全員** 進んであいさつできた
- 3 **全員** 時間を守って集合できた

基本は、歩いて登下校をお願いしています。

※ 少しの風雨なら集団登校すること

※ 帰りも歩いて帰ること

もちろん、安全第一ですが、大人が「子どもたちの“できること”を見極めて任せる」ことを大事にしたいと考えています。ご家庭でも、各地区でもご検討ください。

子どもたちの将来に向けて、がまんする心や自律心を育み、しっかりと“自立”できる力を身に付けさせていきたいと思います。自分でできることを増やしてあげませんか？

マスクの寄贈

大仙市教育委員会を通じて、市内の小松インテリア様から、子どもたち全員分のマスクをいただきました。色つきのマスクで、おしゃれな感じがします。

大切に使用させていただきます。

